

50 明治12年8月29日 菊池長閑

第八号八月廿九日

1) 第八号六月廿二日附達せりお静殿エ之沓封千葉県まで郵便せり
お波義ハ那珂通文ニ而引受呉候事と申来り安心せり序ニ同人エ

礼状出画し六月十九日ニ「ニウヨルク」府へ参たる由船車之便突
ニ羨ニ堪たり日本ニ而も東京より青森まで鉄道出るとハとうよ
り之噂昨今あたりも又涌出るかとかく容易ならざるものと見え
着手之噂もなしとて我か存生中などのものニ有之間敷と被存
候此節ハ避暑中ニ可有之当年何方ニ而如何様之風土なるや委敷
報知も可有之と待居候此件ハ春より順氣ニて田畑共ニ先豊熟其
中麦ハ例よりハ不取田ハ奥植も追々出揃九月一日ハ二百十日な
るかこの氣候にて暴風なけれハ安心なり当年農家ハ故障ハ「モ
デ」ハなしといふまでなり去ル廿日前後は北風にてとんと冷氣
なりしか四五日ニして止また相応之残暑なり明日より旧の盆ニ
テ蓮葉或は菰等売るものあり買ふ者あれハこそとうしても昔仕
訓タ事ハ止メられぬものと見え候今ハ咎尽もならぬものと見え
五節句なども県ニテハ見ぬ振するか御膝元之東京にてすら不構
るハ田舎之県令とても防タテあるまし爰ニ一ツノ奇聞あり桜山

御宮当村如泉寺山ニ御鎮座中の事なるか組惣代与惣右衛門なるもの元の御奉納の遠山集是ハ藩之御遠山雪という御題にて詩歌連語を集録せる者冊なり 或人より被頼御宮守へ請ふて拝借望人エ貸たる由元より自分ニ用なき御本

なれハ拝借も貸もとんと忘たるに一昨年頃より右与惣右衛門なる者気狂ニ成何者なるや来りて桜山へ早く返せと頻ニ催促するものあり発狂なからも此事心頭ニかより種ニ考漸々拝借本之事情心ニ浮之その貸向を糺して取戻し祠掌岡山定季桜山持室之人なりまで差戻したる処いつとなく発狂平愉せり依之御申訳之祝詞を上ケ呉よと頼れたりと右御本御宮へ持来り岡山氏之直話承りたり実ニ奇々妙々なる新聞なり一昨年五月右御宮旧聖寿寺跡エ御遷宮ニ付御本社御引越之為メ当分新庄御邸内ニ仮御遷宮に付御繰出之途中へ右与惣右衛門道を遮り当村之氏神を他村エ移し事ならぬと感張り隋従之祠官も手ニ除したるを水原一論して済たる事あり其罰ニて発狂すたるならんと近隣之俗民唱ふるも難信事と聞流したるか此度之事にて考合すれハ俗民のいう処も一向当らぬにもあらし昨年夏ノ頃より桜山講中目論見するものあれ共免角他の流行神と違ひ靈験も聞得ぬ故か思ふ様人氣も集合せず当年ニ至り春より又再発して七月講札を渡已来追々加入も有りて唯今ハ八百名ニ及ひたり我等も三戸向井様ニ勸られ発起人十八名之耆人と成り共に世話やく積此結講ハ七百年來神徳ニより今日天恩にも浴するなれハ旧藩士一人も不漏結構永世旧恩を忘れざらん事を願ふ目的なれば其神徳を世に弘し度思ふ矢向与惣右衛門之事ハ狐狸之仕業にもせよ梶山様之事なれハ神徳の世に顯るハ一端と独喜悦ニ候」夕顔当年ハ一本エ大小共ニ十三本其中最

(注記2) 上ハ長サ三尺ニ満るあり当春送りたるを時たる也如何生たるものと床敷候此節痢病患者ハあれ共コレヲ煩ふ者耆人へも聞得候是迄当管内ニハなしという説にて安心ニ候

武夫殿

長閑

(注記1)

「通文も牛込同様大ニ添心ニ相成居候」

(注記2)

「大以上十箇也」

(封筒表)

「米国ボストン府

菊池武夫殿



(消印2) (消印3)

(消印4) (武夫注記1)

(武夫注記2)

(消印1) (消印5)

(封筒裏)

「日本岩手県陸中国南岩手郡盛岡

外加賀埜八十六番

菊池長閑

報平安

(消印7) (消印6) (消印8)

(武夫注記1)

「Mr. Takeo, Kikuchi

c/o Gilbert Steward & Co.

Boston, Mass. U. S. A.

(宛先未指定)

「Ans'd」

(宛先→)

「TOKEI JAPAN 6 SEP」

(宛先↗)

「YOKOHAMA SEP 7 1879」

(宛先∞)

「YOKOHAMA SEP 7 1879」

(宛先←)

「YOKOHAMA SEP 7 1879」

(宛先↙)

「RECD IN BOSTON MASS, OCT 15 10 A. M.」

(宛先∞)

「親中・親中・入・三川 親國」

(宛先↘)

「YOKOHAMA SEP 8 1879」

(宛先∞)

「SANFRANCISCO CAL OCT 7」